

# 株主通信

## 第101期 中間報告書

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日



西華産業の  
WEBサイトはこちらから  
<https://seika.com>



### ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
当社グループの第101期第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日)の事業概要をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。  
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

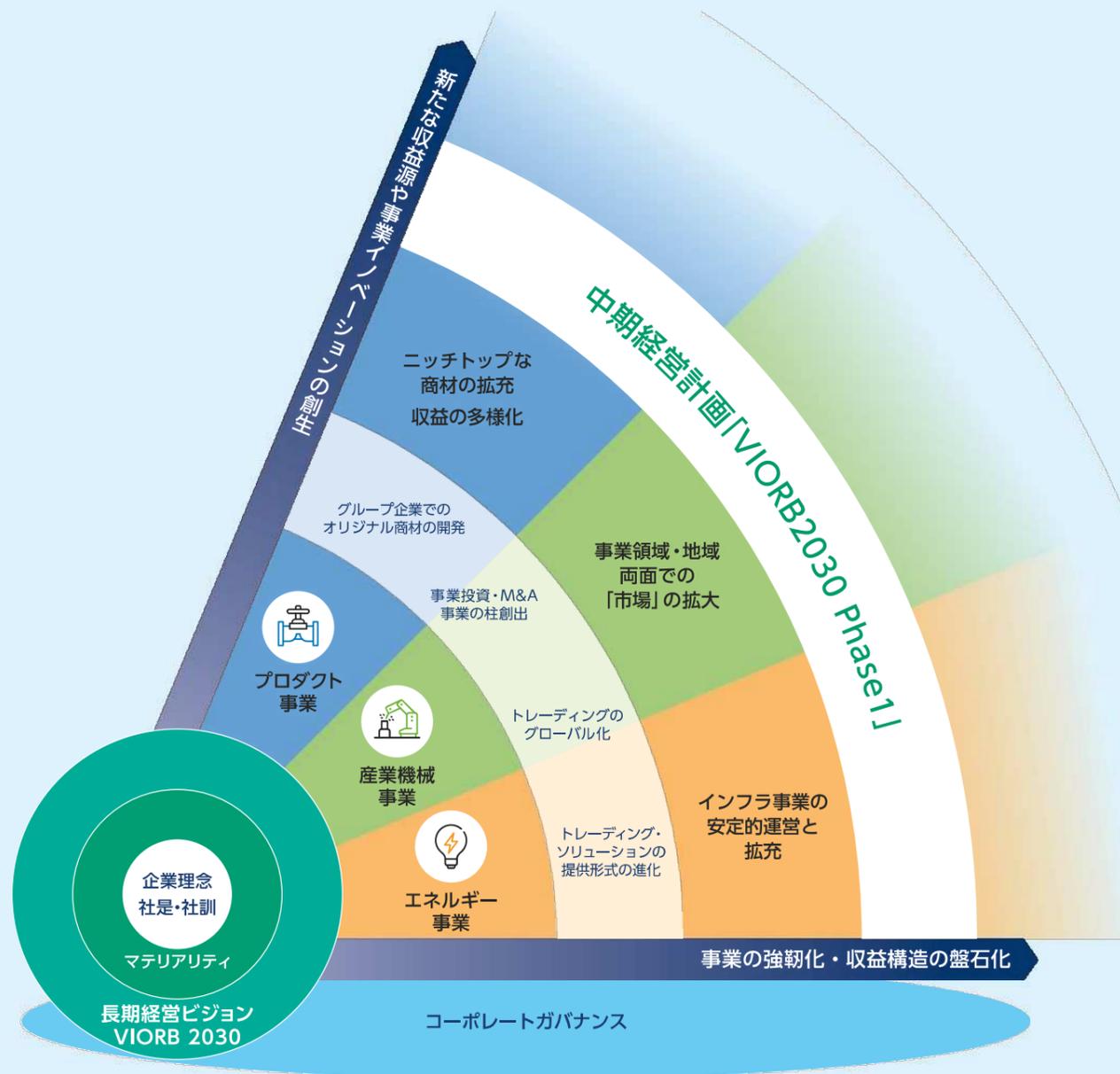
代表取締役 社長執行役員  
櫻井 昭彦

## ビジネスモデル

鉾山用機械の販売から始まった当社の事業は、様々な分野に領域を拡大しながらニーズに応えてきました。創業75年で築き上げたノウハウや事業基盤、そしてお客様との関係性を大切にしながら、時代の変化を的確に捉えて社会に価値を提供し、自らの持続的な成長も目指しています。

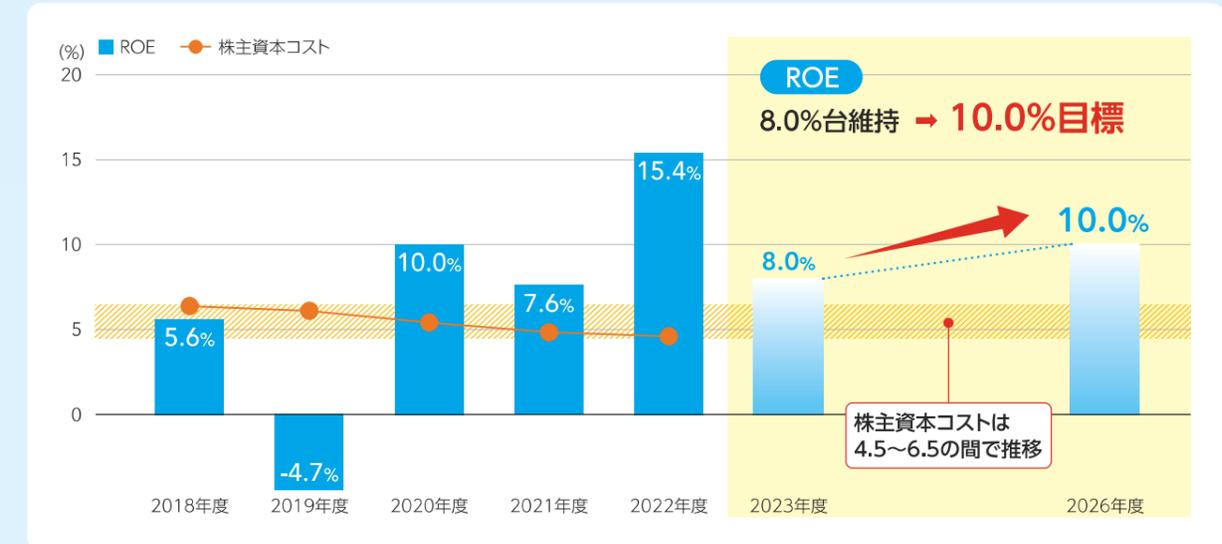
### 西華産業の強み

- ✓ 大手取引先との **強固な信頼関係をベースとしたトレーディング**
- ✓ ニッチで競争力の高い **独自製品の展開**
- ✓ 多様なメーカーとの取引を活かした幅広い業種への **商品提案力**



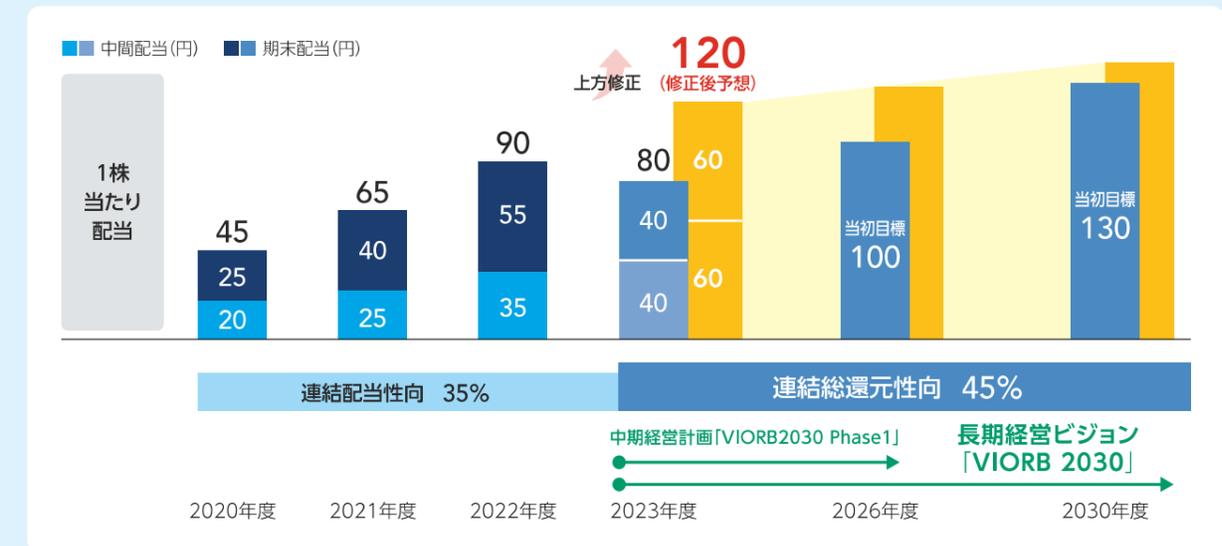
## ROEの上方修正

資本効率を意識した事業を推進し、ROE目標(現状8.0%台維持)を上方修正し、10.0%とする



## 株主還元強化

株主還元の方針を、「配当性向」から「総還元性向」へ変更し、その水準について45%を目途とし、株主還元を強化する



## 株主優待制度の導入

当社の認知度向上と売買取引活性化を図るため、株主優待制度を導入

保有株式数	優待内容
100~299株	クオカード 1,000円分
300~499株	クオカード 2,000円分
500株~	クオカード 3,000円分



※券面デザインは変更となる場合がございます

事業を通じて社会課題を解決していくことが当社グループの企業価値向上につながるものと信じ、2023年度に特に注力すべきマテリアリティを特定し、またサステナビリティ活動の推進を加速させるためにサステナビリティ委員会を設置しました。

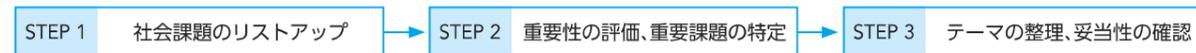
### 2023/7 サステナビリティ委員会を設置

様々な社会的課題を解決するため、個別に設置・対応してきた各部、各委員会・プロジェクトチーム等を、全社網羅的・機能的に運営させるために、「環境対応」「人を大切にする経営」「経営品質の向上」の3つのカテゴリーに整理・集約し、それらの取り組み方針を策定し推進するための3つの部会を設け、モニタリングする上部機関として、サステナビリティ委員会を設置しています。



### 2023/8 マテリアリティ(重要課題)を特定

- 国際的なフレームワークのSASBやGRI, SDGs17のゴール/169のターゲット等より、当社事業に関連する社会課題をリストアップ。
- それらの抽出した社会課題に対して、ステークホルダーにとっての重要度と、当社の経営理念や強み、事業特性を踏まえて評価を行ない、優先的に取り組むべき重要課題を特定。
- 特定された12の重要課題(マテリアリティ)について、経営会議メンバー及び社外取締役にて協議し、妥当性の確認を行ない、4つのテーマにマテリアリティを整理し、取締役会にて承認を受け、マテリアリティを決定。



	マテリアリティテーマ	重要課題	関係するSDGs
事業を通じた社会課題解決	1 次世代へつなぐ地球環境への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリーンエネルギーの拡大</li> <li>火力発電の脱炭素化</li> <li>TCFD提言に沿った対応</li> </ul>	7 再生可能エネルギー、13 気候変動にかなった成長
	2 産業の持続的成長への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ・省資源化の推進</li> <li>DX化の推進</li> <li>水産資源の持続性への貢献</li> </ul>	14 海の豊かさを守ろう、15 陸の豊かさも守ろう
持続的成長のための経営基盤強化	3 ステークホルダーとの共存・共栄	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員のエンゲージメント向上</li> <li>ダイバーシティの推進</li> <li>地域社会との共生</li> </ul>	5 性別平等、8 持続可能な産業と雇用
	4 透明性の高いガバナンスの実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーポレートガバナンスの強化</li> <li>コンプライアンス体制の拡充</li> <li>データセキュリティの強化</li> </ul>	17 公正な社会と豊かさを創出しよう

当社のサステナビリティ活動についてはHPもご覧ください。



### NEWS & TOPICS 1

#### 台湾西華産業股份有限公司の設立

当社と台湾との関係は1983年の台北事務所開設(1984年に台北支店登記)にさかのぼります。台湾におけるビジネスの位置付けも年を重ねるごとに重要となり、アジア太平洋地域でのビジネス活動の戦略的な拠点として活用するため、この度、現地法人「台湾西華産業股份有限公司」を設立することとなりました。



現地法人設立により、台湾の顧客や取引先からの信頼性・信用度を高め、パートナーシップを強固にし、業容の更なる拡大を目指してまいります。

### NEWS & TOPICS 2

#### 個人投資家向けオンライン会社説明会を開催



機関投資家向けである決算説明会は毎年2回(5月・11月)行なっておりますが、今年からは、個人投資家の皆様にも当社に対するご理解を深めていただく試みとして、オンラインセミナーを開催しております。2023年7月には大和証券株式会社にて、8月にはauカブコム証券株式会社にてオンラインセミナーを実施し、2023年3月期の決算概要および新中期経営計画についてご説明させていただきました。アーカイブ動画をぜひご覧ください。

詳しくはこちら

[https://www.youtube.com/watch?v=iop69\\_PeBY&t=5s](https://www.youtube.com/watch?v=iop69_PeBY&t=5s)



### NEWS & TOPICS 3

#### 初の統合報告書を発刊

当社は前期に新たな長期経営ビジョン「VIORB 2030」を策定し、当期には長期経営ビジョンに基づく中期経営計画が始動し、今後の主力事業の一つと位置付ける原子力発電関連業務も開始いたしました。会社の持続的成長に向けた成長戦略の転換期を迎え、当社グループの価値観や新たな戦略についての全体像をお示しするために初の統合報告書を発刊いたしました。今後も投資家・株主の皆様との建設的な対話のためのコミュニケーションツールとして、財務・非財務情報とも継続的に充実を図り、当社の価値創造ストーリーをお伝えすることを目指してまいります。

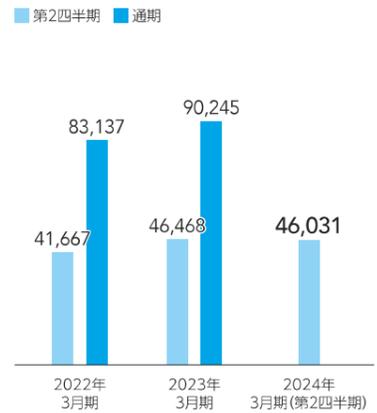
詳しくはこちら

<https://www.seika.com/ir/library/integrated-report/>

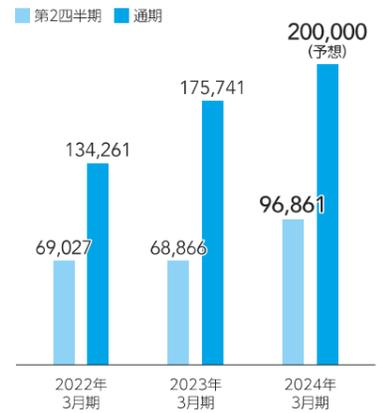


連結財務ハイライト

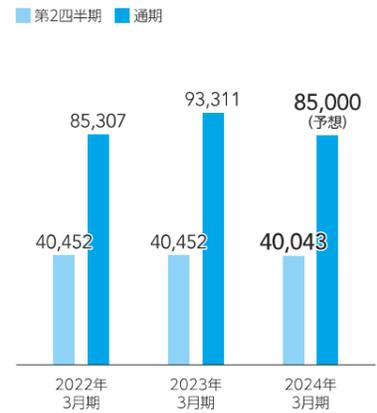
受注高 (百万円)



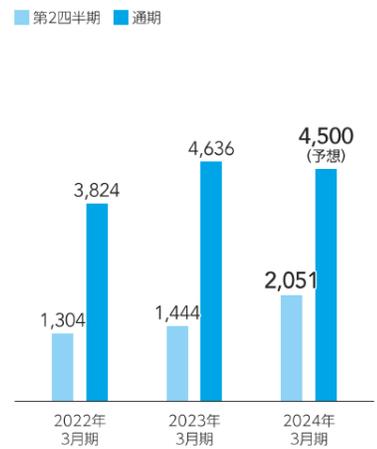
取扱高 (百万円)



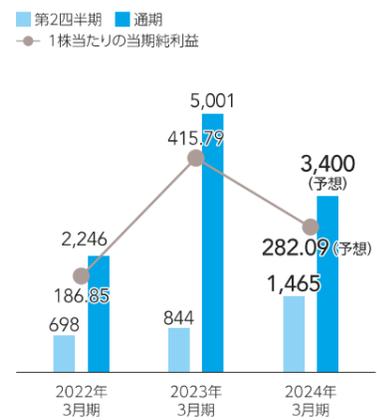
売上高 (百万円)



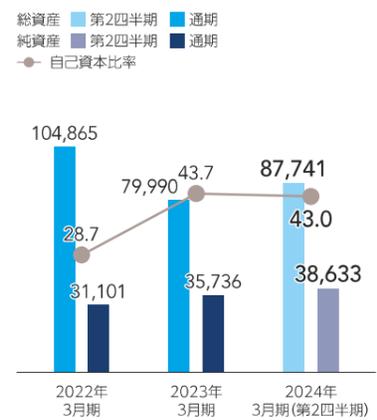
営業利益 (百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益  
1株当たりの当期純利益 (円)



総資産／純資産  
自己資本比率 (%)



主なデータ ※2023年3月時点



売上高構成



エネルギー事業

エネルギーは生活や経済活動の基盤となる最重要インフラです。電力会社をはじめ、石油、化学、製鉄等、社会インフラを支える根幹産業向けに、グリーン成長戦略に則ったエネルギー関連設備の販売・アフターサービスを行っています。



2024年3月期 第2四半期の概況



丹後・若狭地区の原子力発電所・火力発電所や、九州地区の原子力発電所における保守・修繕工事案件等により増収となったものの、当社単体のエネルギー事業部門において体制拡充等に伴う販管費の増加があったことなどから減益。

産業機械事業

繊維、フィルム、食品・飲料などの幅広い産業分野に対し、機械総合商社として環境負荷低減に貢献すべく、様々な製品・設備の販売やメンテナンスを行っています。



2024年3月期 第2四半期の概況



当社単体において前年同期に大型案件の受渡しがあったことの影響により減収となった一方で、新型コロナ禍による活動制限が緩和された一部の海外連結子会社の業績が回復したことなどが寄与し増益。

プロダクト事業

西華産業グループでは、エンジン、バルブ、ポンプ、計測機器など、国内外問わず独自性や競争力の高い製品を取り扱っています。  
 欧州：工用水中ポンプの販売・レンタル事業産業用ロボットの販売など  
 北米：EI系自動車業界向け基板実装関連設備の販売など  
 アジア：化学・繊維その他一般産業向け機械設備、原材料の販売など



2024年3月期 第2四半期の概況



工用水中ポンプを扱うTsurumi (Europe) GmbHグループや、ダイヤフラム弁を中心としてバルブの製造・販売を行う日本ダイヤバルブ株式会社の業績が好調に推移し増収増益。

※2024年3月期より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「電力事業」「化学・エネルギー事業」「産業機械事業」「グローバル事業」から、「エネルギー事業」「産業機械事業」「プロダクト事業」の3セグメントに変更いたしました。当第2四半期の概況における前年同期比較は、変更後の区分に基づいております。

## 当社の概況

(2023年9月30日現在)

設立年月日	1947年(昭和22年)10月1日
資本金	67億28百万円
事業所	① 当社の主要な事業所 本社：東京都千代田区 支社：大阪市 支店：名古屋市、広島市、福岡市ほか国内外主要都市 ② 子会社の主要な事業所 日本ダイヤバルブ(株)(東京都品川区) 西華デジタルイメージ(株)(東京都文京区) 敷島機器(株)(北海道札幌市) セイカダイヤエンジン(株)(東京都新宿区) Seika Sangyo GmbH(ドイツ) Tsurumi(Europe) GmbH(ドイツ) Tsurumi France S.A.S.(フランス) HYDREUTES, S.A.U.(スペイン) Marine Motors & Pumps N.V.(ベルギー) Tsurumi UK Limited(イギリス) Tsurumi Pumps UK Ltd.(イギリス) SEIKA MACHINERY, INC.(米国) 西隣貿易(上海)有限公司(中国) 天津泰雅閥門有限公司(中国) Seika Sangyo(Thailand) Co., Ltd.(タイ) SEIKA SANGYO (VIETNAM) COMPANY LIMITED(ベトナム)
従業員数	1,025名(連結) 340名(単体)

## 役員

(2023年9月30日現在)

代表取締役 社長執行役員	櫻井 昭彦
取締役 専務執行役員	川名 康正
取締役 常務執行役員	増田 博久
取締役 上席執行役員	長谷川 智昭
取締役(社外)	宮田 清巳
取締役(社外)	各務 真規
取締役 監査等委員(常勤)	阿部 正典
取締役 監査等委員(社外)	白井 裕子
取締役 監査等委員(社外)	中村 嘉彦
上席執行役員	高橋 紀行
上席執行役員	野尻 竜彦
執行役員	碓井 一俊
執行役員	湯面 彰
執行役員	本多 裕二
執行役員	小出 進
執行役員	中村 勝美

## 株式の状況

Stock Information

## 株式の概況

(2023年9月30日現在)

## 株式数および株主数

発行可能株式総数	37,705,800株
発行済株式の総数	12,320,650株
株主数	7,544名

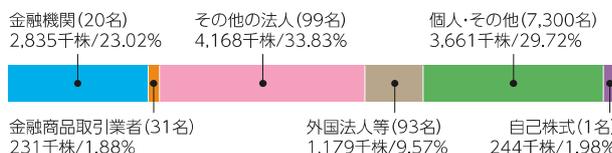
## 大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	割合 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,006	8.33
光通信株式会社	891	7.38
三菱重工業株式会社	612	5.07
株式会社UH PARTNERS 2	593	4.91
株式会社三菱UFJ銀行	400	3.31
株式会社山口銀行	352	2.92
三菱電機株式会社	286	2.37
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	280	2.33
株式会社鶴見製作所	267	2.21
株式会社三井住友銀行	234	1.94

(注) ①千株未満は切り捨てて表示しております。

②当社は、自己株式 244,265株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株の割合は自己株式を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



(注) 千株未満は切り捨てて表示しております。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話：0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://seika.com">https://seika.com</a> (ただし、電子公告によることができない 事故、その他のやむを得ない事由が生じた ときは、日本経済新聞に公告いたします。)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きが必要となります。このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。